

乳がん切除後の乳房再建手術

乳がん切除後の乳房再建手術は、健康保険の適応であり、もはや特別なものではなく、標準的な治療の一つとなっています。

当院では、「自家組織（自分のからだの組織）を用いた再建」「人工物（シリコンインプラント）を用いた再建」の両方を行っています。胸部の状態や生活環境、価値観などに応じて、患者さん一人一人がご自身に合った再建方法を選択できるよう努めております。

乳房再建のタイミング

- ① 一次再建：乳がん手術（乳房切除手術）と同時に行う
- ② 二次再建：過去に乳がん手術（乳房切除手術）を受けておられ、改めて行う

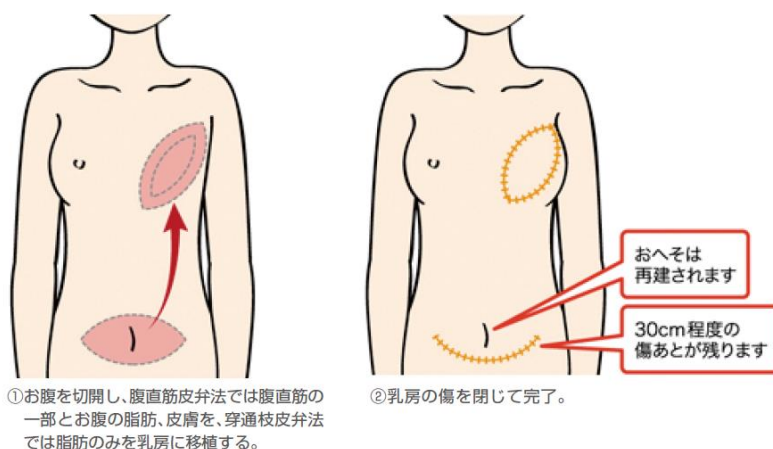
乳房再建の方法

① 自家組織（自分のからだの組織）を用いる再建

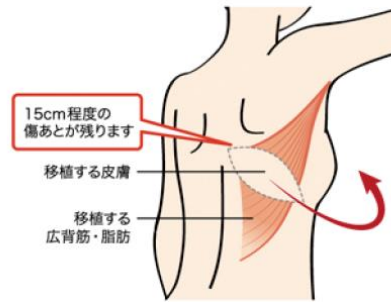
柔らかく、温かく、姿勢によって形が自然に変化する乳房を希望される方に合います。ただし長めの手術時間（5～10時間）、入院期間（10日～2週）が必要で、組織をとった部分には傷あとが残ります。

代表的な方法として、腹部の組織を使う腹部穿通枝皮弁法と、背部の組織を使う広背筋皮弁法があります。

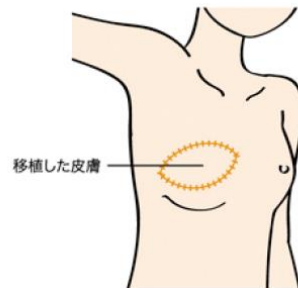
腹部穿通枝皮弁法



広背筋皮弁法



①背中を切開し、皮膚をつけたままの広背筋と脂肪を、わきの下の内側をくぐらせて乳房の位置へ移動させる。



②乳房で縫い合わせて完了。

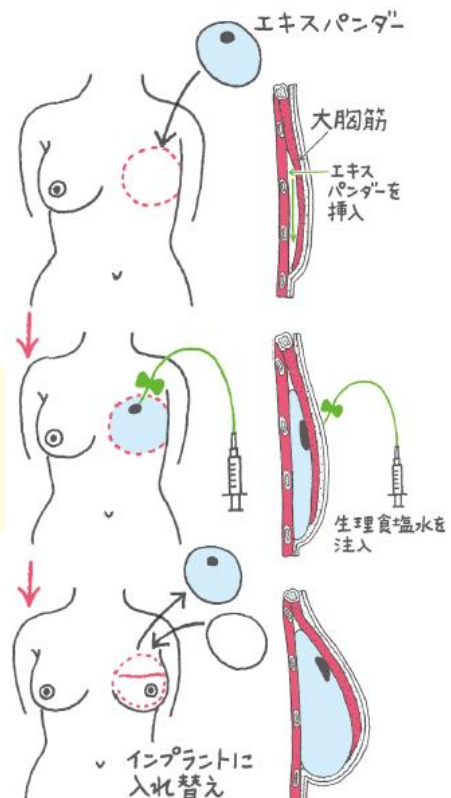
② 人工物（シリコンインプラント）を用いる再建

保険適応であるアラガン社のシリコンインプラントを用います。サイズ・形ができるだけ近いものを選び、胸部に挿入して乳房の膨らみを作ります。乳房以外に新しい傷を作りません。自家組織と比べると、やや硬く、姿勢による自然な動きが出にくいという限界はあります。

ほとんどの場合、インプラントを挿入する前に皮膚を伸ばす必要がありますので、あらかじめエキスパンダー（組織拡張器）を挿入し、2回目の手術でインプラントに入れ替えます。

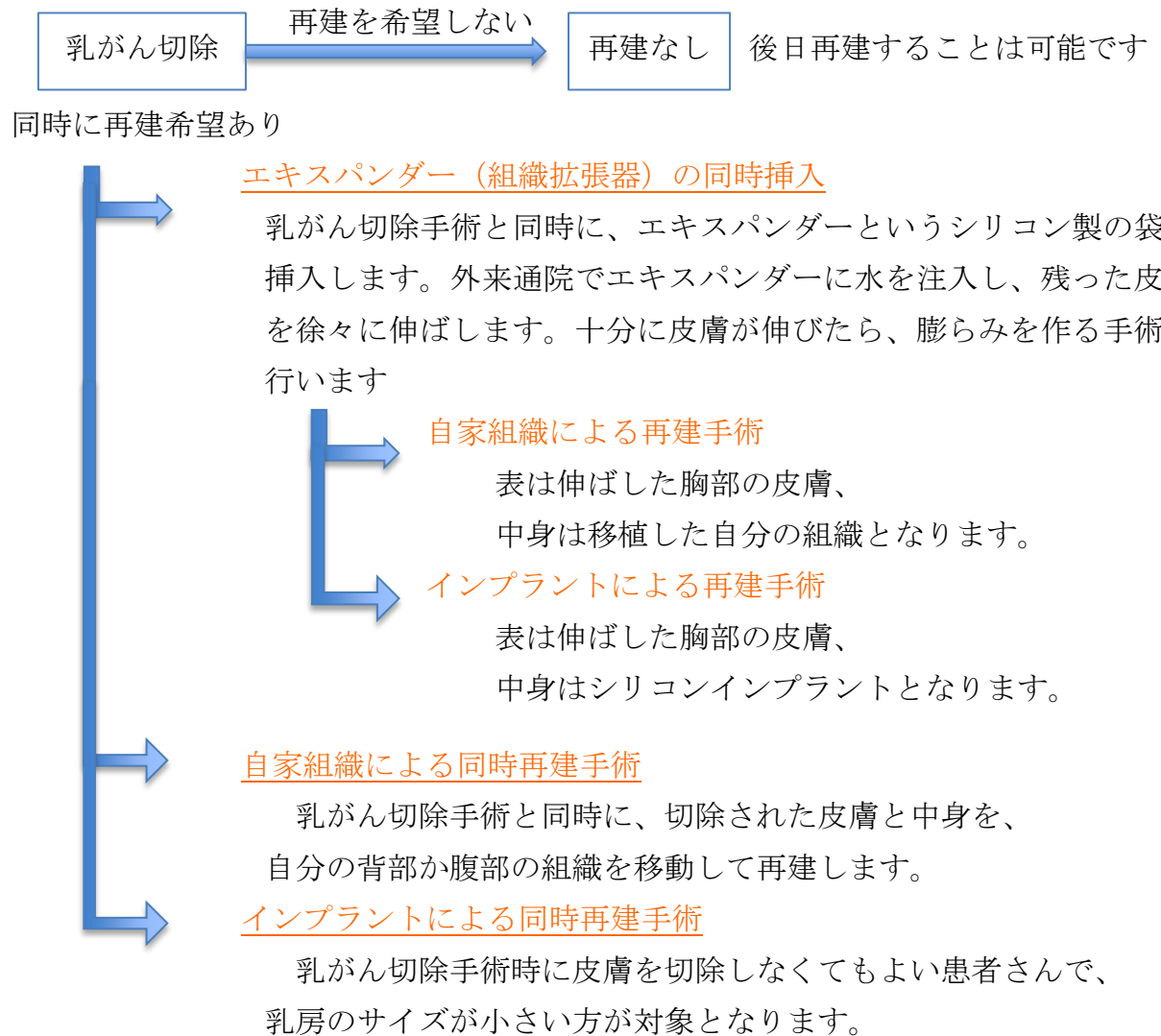


写真提供
①～④アラガン・ジャパン株式会社
⑤株式会社高研



乳房再建のながれ

① 当院でこれから乳がんの切除手術を受けられる方



②当院もしくは他院で過去に乳がんの手術を受けておられる方

乳がん術後

エキスパンダー（組織拡張器）挿入

まずエキスパンダーというシリコン製の袋を胸部に挿入します。
外来通院でエキスパンダーに水を注入し、皮膚を徐々に伸ばします。
十分に皮膚が伸びたら、膨らみを作る手術を行います

自家組織による再建手術

表は伸ばした胸部の皮膚、
中身は移植した自分の組織となります。

インプラントによる再建手術

表は伸ばした胸部の皮膚、
中身はシリコンインプラントとなります。

自家組織による同時再建手術

乳がん切除手術で切除された皮膚と中身を、
自分の背部か腹部の組織を移動して再建します。